

便秘薬では便秘は治らない

「オリーブオイルで便秘を治さなくても、下剤があるじゃない！」

「私は1週間に1回、下剤で便を出しているから大丈夫」

読者からこんな声が聞こえてきそうですね。

たしかに、ひどい便秘も市販の下剤を飲めばいつきに解消。お腹がキューツと痛くなることさえ我慢すれば、お腹がからっぽになるのは事実です。

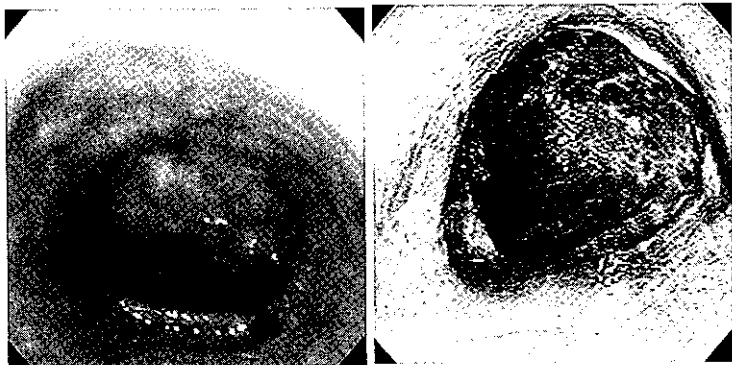
しかし、下剤ではあくまでも一時的に、しかも無理やり便を出しているにすぎず、便秘の根本治療にはなりません。それどころか、何度も使っているとたいへん危険な副作用があるのです。

たとえば、大腸の粘膜が真っ黒になる「大腸メラノーシス」(大腸黒皮症ともいいます)。こうした副作用は、下剤のなかでも、センナやアロエ、だいおう大黄などの生薬しょうやくが含まれるアントラキノン系下剤によっておこります。市販の便秘薬のほとんどは、このアントラキノン系下剤です。



正常な大腸(左)と大腸メラノースの大腸(右)

※大腸内視鏡検査による



大腸メラノースはそれ自体、何の症状もありませんが、メラノースができた腸はいわばゴムのように伸びきって、動きが弱くなった腸です。

こうなると、大腸のはたらきはさらに弱まり、便はますます出にくくなります。下剤を飲むと、副作用で便秘がさらにひどくなる、といわれるのはこのためです。

「下剤は薬だし、今さら手放せない」という女性もいるかもしれませんが。

でも、あきらめないでください。オリールでも、あきらめないでください。オリールを使った正しい便秘解消法なら、必ず排便できるようになるのです。